

## ビジネスサミット 2025: 「Japan Dream」：楽観とイノベーションの未来を築くために、東京に 1,000 人以上のリーダーが集結

2025 年 11 月 6 日（東京・日経ホール）

在日フランス商工会議所（CCI France Japon）は、「ジャパンドリーム：予測不可能な時代における楽観主義の構築」をテーマに、第 8 回ビジネスサミット 2025 を開催しました。本イベントには、フランス、日本、そして国際的なビジネスリーダー、起業家、政策決定者など 1,000 名以上が参加しました。会場となった日経ホールでは、「伝統と革新の融合」を軸に、持続可能性・協働・人間主義に基づく未来づくりが議論されました。

開会挨拶で在日フランス商工会議所会頭のジェローム・シュシャン氏は、日本の決意と楽観的な精神を称え、「機会に満ちた未来を築くための模範である」と述べました。続いて、在日フランス大使館のジェレミー・フォラ＝ジャイム参事官が登壇し、大阪・関西万博 2025 や VivaTech などに象徴される日仏協力の発展を強調しました。経済産業省の辻阪貴子氏は地政学的課題とスタートアップ支援の重要性を指摘し、経団連の久保田政一氏は官民連携による進歩とイノベーション推進の必要性を訴えました。

### 自信とパートナーシップに彩られた幕開け

岸田文雄前首相は、未来の日本を築くためには「人材、スタートアップ、中小企業への投資が不可欠」と強調。また、「日仏関係はかつてないほど緊密」であり、「世界的課題は協力によってしか解決できない」と述べました。

### 渋谷：未来都市の実験場

最初のラウンドテーブル「Shibuya, shaping the cities of tomorrow」では、「渋谷 2035」——包摂的で持続可能かつつながりのある都市構想が紹介されました。渋谷スタートアップス代表の渡部志保氏は、渋谷を「グローバルなアイデアの発信拠点」であり、「協働と創造性にかかれた都市型日本の象徴」と述べました。

### ヤマトホールディングス：物流×革新×社会的責任

ヤマトホールディングス代表取締役社長・長尾裕氏は、2030 年に向けたカーボンニュートラル実現への取り組みを発表しました。

## プレスリリース

### ビジネスサミット 2025 – 「ジャパンドリーム：予測不可能な時代における楽観主義の構築」

同社は数千台の電動車両を導入し、明確なロードマップを策定。技術革新と環境責任を両立し、地域社会の日常生活の質向上を目指しています。

主な取り組みとして、冷蔵トラックや移動販売車による過疎地支援、温室効果ガス排出削減、電動車両のライフサイクル管理、エネルギーマネジメントソリューションが紹介されました。

さらに、ドライバーの健康をオンラインで管理する「My Medica」も開発。これは、「人・気候・社会のために行動することこそが真のイノベーションである」という包括的アプローチの象徴とされています。

### イノベーションとイマジネーションが会うとき

セッション「Where Innovation Meets Imagination」では、人間の創造性を高める触媒としての AI の役割が議論されました。

**日本マイクロソフトの津坂美樹氏**は、AI を「才能を解き放つ副操縦士（コパイロット）」と表現。

**ダッソー・システムズのフィリップ・ゴドブ氏**は、仮想ツイン技術を紹介し、大阪万博 2025 フランス館の設計にも活用されていることを説明しました。

**TikTok Japan のアージュン・サーワル氏**は、AI が京都における観光混雑の緩和など、公共の利益のためにも活用されている事例を紹介しました。

### ジェスパー・コール氏: 野心と自信に満ちた日本

経済学者**ジェスパー・コール氏**は、「Japan Dream」の精神を次のようにまとめました：

「新しい日本は A.B.C.—Ambitious（野心的）、Bastion of stability（安定の砦）、Confident（自信に満ちている）」

彼は、リスクを恐れない新しい世代のリーダーの台頭、より開かれたガバナンス、そして人間のために AI とテクノロジーが活用される社会の出現を称賛しました。

### 京都: 伝統と現代性の調和

**京都市長・松井孝治氏**は、教育・創造性・レジリエンスを備えた京都の未来像を語りました。

36 の大学と 17 人のノーベル賞受賞者を擁する京都は、文化遺産、科学的卓越性、起業的イノベーションの融合を体現しています。

市長は、観光に依存しない持続可能な起業モデルの構築を目指し、「文化とテクノロジーの調和的共存」を掲げました。

## プレスリリース

### ビジネスサミット 2025 – 「ジャパンドリーム：予測不可能な時代における楽観主義の構築」

#### 倫理的ロボティクス: 人間に奉仕するテクノロジー

対談「*Draw Me a Robot*」では、**東京大学のジェンチャン・ベンチャー教授**が登壇。  
AIの影に隠れがちなロボティクスこそ、イノベーションの物理的基盤であると指摘しました。  
彼女は、人間と環境を調和させるためにロボットを設計する「学際的で倫理的なアプローチ」の重要性を訴えました。

#### Rapidus: 日本の産業復活

**Rapidus 株式会社社長・小池淳義氏**は、日本の半導体産業の世界的リーダーシップを取り戻すための戦略プロジェクトを発表しました。  
ソニー、トヨタ、ソフトバンク、デンソーなどの支援を受け、2027年までに北海道で2ナノメートルチップを生産するため、3〜4兆円を投資予定です。  
Rapidusは、共創と持続可能性を基盤とした新たな産業時代の象徴です。

#### 日本のラグジュアリー: 感性・サービス・卓越性

対談「The Unique Experience of Japanese Shopping」では、**フォートレス（そごう・西武）CEO 劉勁氏**と**LVMH ジャパン社長 ノルベール・ルレ氏**が登壇。  
フォートレスは百貨店を「体験とつながりの場」へと変革し、LVMHは「40年間、最高のものを日本市場に提供してきた」と強調しました。  
「LVMH Dream」ビデオでは、創造性・感情・卓越性の結びつきが象徴的に描かれました。

#### 持続可能な未来のエネルギーのためのイノベーション

セッションでは、**Veolia**、**TotalEnergies**、**豊田通商**が登壇。  
経済的パフォーマンスと環境への正の影響を両立する「漸進的なエコ変革」の必要性が強調されました。  
鍵となるのは、オープンなパートナーシップ、長期的ビジョン、そして特に原子力やエネルギーリサイクル分野における「公共の信頼」です。

#### バイオサイエンス: 「卵」——生命とイノベーションのカプセル

対談「Eggs: Capsules of Life and Innovation」では、**Pharma Foods International**の**金武祚氏**が登壇。

## プレスリリース

### ビジネスサミット 2025 – 「ジャパンドリーム：予測不可能な時代における楽観主義の構築」

卵殻膜をエコフレンドリーで多機能な繊維に変える先駆的研究を紹介しました。  
繊維、エネルギー、農業など多分野での応用が期待され、「卵」は科学・自然・創造性を融合する循環型イノベーションの象徴となっています。

#### 武田薬品工業：グローバルな大胆さと日本の伝統

対談「Japan Dream」では、**武田薬品 CEO クリストフ・ウェーバー** 氏が登壇。  
同氏は、日本的な厳格さと国際的な開放性を兼ね備えた経営の経験を共有しました。  
シャイアー買収後、武田薬品の売上は 3 倍に拡大し、1 年以内で完全統合を実現。  
「国籍は関係ない——統合こそが鍵だ」と述べました。  
また、創薬や生産における AI の重要な役割についても触れました。

#### スポーツと文化: 永続する友情

最終対談「France-Japan: The Future of Sports & Entertainment」では、**フロラン・ダバディ** 氏が司会を務め、ダカールラリーの伝説的ドライバー **菅原義正** 氏が登壇。  
両氏は、スポーツを**協力と相互尊敬の媒体**として称え、**日本の勇気とレジリエンスの精神**が  
「Japan Dream」の一部であると語りました。

#### 日仏協力のもとに閉幕

閉会にあたり、**CCI パリ＝イル・ド・フランス商工会議所会頭ドミニク・レスティノ** 氏が登壇。  
討論の質と日仏間の経済的絆の強さを称え、「今年は特に大阪・関西万博 2025 という象徴的な年である」と述べました。  
彼は、フランス館ナショナルデーに参加し、**フランスと日本のパビリオンを結ぶ取り組み**によって生まれた熱意と感動を目の当たりにしたと報告しました。

続いて、在日フランス商工会議所会頭 **ジェローム・シュシャン** 氏が登壇。  
参加者 **1,000 人**を超える過去最大規模の開催に感謝の意を表し、「伝統と革新の調和」という本サミットのテーマが、「Japan Dream」の理念——すなわち、現代性・継続性・国際的開放性の均衡——を体現していると述べました。

「他国と協働することで、私たちはさらに前進できる」

## プレスリリース

### ビジネスサミット 2025 – 「ジャパンドリーム：予測不可能な時代における楽観主義の構築」

と締めくくり、**AI・メディア・ロボティクス・バイオテクノロジー**分野の主要企業が参加し、「日本が今や真のグローバル・イノベーション拠点であり、重要な戦略的パートナーである」との確信を共有しました。

さらに、サミット全体の**多様性と開放性**を称え、

「**バイオテクノロジー、ロボティクス、スマートシティ、人工知能、バイオフィーマ**、さらには“卵”という予想外のテーマまで——**日本の創造性と活力**を象徴する議論が交わされた」

と述べました。

最後に、**勇気とレジリエンス**こそが「Japan Dream」の核心であると強調し、**信頼・革新・人間主義**に基づいた共通の未来を築くため、日仏協力の継続を呼びかけました。

次回のビジネスサミットは 2026 年 11 月 25 日、日経ホールで開催予定です。

#### 在日フランス商工会議所について

**在日フランス商工会議所（CCI France Japon）**は、日本で最大級の外国商工会議所の一つであり、日本初の欧州商工会議所、そして世界の **CCI France International** ネットワークの中で 3 番目に大きな規模を誇ります。

**1918** 年の設立以来、**700** 社を超える多国籍会員ネットワークを構築し、**東京・大阪・名古屋・福岡・群馬・福井**にオフィスとビジネスセンターを展開しています。

当会議所は、会員間の実りある交流を促進し、日仏間のビジネス機会の拡大に努めています。

**2026** 年に向けては、会員企業 **800** 社を目標に、**地域的拡大、カスタマイズサービスの提供、双方向的なコミュニケーションプラットフォームの整備**を進めています。

詳細は公式サイトをご覧ください

<https://www.ccifj.or.jp>



## プレスリリース

ビジネスサミット 2025 – 「ジャパンドリーム：予測不可能な時代における楽観主義の構築」



©在日フランス商工会議所 – ビジネスサミット 2025, Life14



## プレスリリース

ビジネスサミット 2025 – 「ジャパンドリーム：予測不可能な時代における楽観主義の構築」

©在日フランス商工会議所 – ビジネスサミット 2025, Life14